

スマイラフ[®]服用中の患者さんへ

監修 | 東邦大学医学部
内科学講座膠原病学分野 教授 亀田秀人 先生

スマイラフ服用中の感染症について

スマイラフ服用中は、免疫機能が低下するため結核、肺炎、敗血症などをはじめとする感染症にかかりやすくなるといわれています。重篤化を防ぐためには、早期の対応が重要です。

次のような症状に気づいたときは、すぐに医師に相談しましょう。

代表的な感染症の症状

- 発熱が続いている
- 呼吸器症状がある
(息切れ、痰のない咳など)
- 咳がある
- のどの痛みがある
- 体がだるい
- 寒気がする
- 皮膚に痛み・かゆみ・発疹がある

このほかに、次のような症状にも注意が必要です。

体調の変化に気づいたときは、服用をやめてすぐに医師に相談してください。
服用ごとにこのような体調変化がないか、チェックしましょう。

- 息切れやめまいがある
- 食欲が低下した
- 白目や皮膚が黄色くなる
- 激しい又は持続する腹痛がある
- 手足や全身の筋肉痛・しびれがある
- 尿の色が赤褐色になった



このほかにも、気になる症状が認められた場合は、
すぐに医師に相談してください。

関節リウマチと感染症について

関節リウマチのお薬を服用中の患者さんでは、好中球数、リンパ球数が減少することがあります。好中球やリンパ球は、細菌やウイルスなどから体を守る役割をもつ白血球の一種で、これらが少なくなると抵抗力が弱まり、感染症にかかりやすくなります。

特に高齢の方は感染症にかかりやすい傾向がありますので、体調には注意してください。

また、一部の感染症では、ワクチンの接種が有効とされています。

感染症の予防には手洗い・マスクの着用を

感染症の原因となる細菌やウイルスは、主に「飛沫感染」「接触感染」「空気感染」の3つの経路で感染します。

飛沫感染：細菌やウイルスを含んだ飛沫を鼻や口から吸いこむことで発症する感染症

接触感染：細菌やウイルスが手や体の表面に付着することで発症する感染症

空気感染：空気中に浮遊する細菌やウイルスを吸い込むことで発症する感染症

注)既に体内や体表に存在する細菌やウイルスが、体の抵抗力が弱まった時に活性化することで発症する感染症もあります。

これらの3つの経路を介する感染症の予防には、手に付着した細菌やウイルスを洗い流す手洗いや、細菌やウイルスを吸い込まないようにするためのマスクの着用が有用と考えられています。また、口腔内を清潔に保つためのうがい、歯磨きも有用と考えられています。



医療機関名

スマイラフに関する情報は
《スマイラフ.jp患者さんとご家族の方へ》
からご覧いただけます。

スマイラフ.jp 患者さんとご家族の方へ



<https://smiraf-pts.jp/>
スマートフォン、パソコンの
どちらからでもご覧いただけます。